上野焼（あがのやき）春の陶器まつり

第36回

4月 24（金） 25（土） 26（日）

四百年以上の歴史を誇る国指定の伝統的工芸品、上野焼。今年も恒例の「春の陶器まつり」の季節を迎えました。

参加窯元と上野焼陶芸館ではお買い得な割引商品や大サービスのチャリティー商品の販売が行われ、普段はなかなか手が出ないお目当て品や掘り出し物に期待がふくらみます。窯元によっては超特価の「福袋」もありますが、こちらは売り切れ必至なのでお早めにお求めください。

また、好評の「スタンプラリー」のほか、例年趣向を凝らした上野焼陶芸館ギャラリー陶での展示では、初夏を演出する組皿と組鉢をテーマにした「母の日の食卓展」が開催されます。日ごろの感謝の気持ちを込めた上野焼のギフトは、大切な人に喜ばれること間違いなし！ 組皿や組鉢は収納や用途の幅広さの面でも女性に人気です。

さらに、陶芸館に隣接する上野の里ふれあい市では「農産物大売り出し」が開かれます。その場でついた出来たてのお餅や郷土の名物料理「猪汁」がサービス価格で提供されます。

◎期間中の巡回バスと土曜・日曜のシャトルバスを無料運行

今回の企画展のテーマは初夏の組皿と組鉢をテーマにした「母の日の食卓展」

上野以外のスポットがポスター初お目見え！

春の陶器まつりのポスターに、ちょっとした変化です。従来は上野の風景ややきものが主体でしたが、今回は県指定天然記念物である定禅寺（弁城）の「迎接の藤」がメーン。36回目にして初めて上野以外のスポットでPRされました。

町の特産品に、見て、触れて、伝統とぬくもりを身近に感じる3日間。どうぞ、この絶好の機会にぜひ足をお運びください。

問 上野焼協同組合 ☎28-5864

町長日誌

▼ふと、子どもの頃を思い出すことがある。今では、平成筑豊鉄道と名称が変わってしまったが、かつての赤池駅（国鉄伊田線）は、国鉄バスの発着所でもあった。駅前通りには、食堂や駄菓子屋等が軒を連ねており、通りを歩くだけでも、何となく心が弾んだものである。その後、町の隆盛を支えた炭鉱の衰退とともに、次々と商店も姿を消し、すっかり様変わりしてしまった。そうした中で、地域に根付き、営々と商いを続けている商店があるのは、何とも心強い限りである。多少の違いはあるにせよ、金田地区や方城地区でも同じようなことが言えるのではないだろうか。確かに、商工業の盛衰は、社会環境や経済基盤の変動に左右される面があるのは否めないが、そのリスクが少しでも緩和できればとの思いは、事業を営む人達共通の願いでもある

▼ところで、それぞれの自治体には商工会や商工会議所という団体があり、いずれも地域の商工業者を会員とする組織体である。果たす役割も多岐にわたっており、会員にとっては、身近でしかも頼りになる存在であることは言（げん）を俟（ま）たない▼振り返って我が福智町を見れば、去る3月12日夕刻に、赤池・金田・方城の商工会長が町長室を訪ね、平成22年4月1日の合併につき確認書を交わしたところである。その概要は、①今年4月1日に赤池・金田の商工会が合併する、②方城商工会は来年4月1日を目途に合併する、③商工会の本所は平成25年4月1日から方城地区内の公共施設（未定）に置くが、それまでは赤池商工会館内とする――となっている。福智町の浮沈のカギを握る重要な団体であり、商工会の安定的運営のためには、できる限りの支援をしていきたいと思っている。

浦田 弘二

広報ふくち ■発行／福智町（本庁） 〒822-1292 福岡県福智町金田937番地2 TEL 0947-22-0555（代表） FAX 0947-22-0782（代表）
■編集：企画課広報・広聴係 TEL 0947-22-7766 ■URL http://www.town.fukuchi.lg.jp ■印刷：マツオ印刷株式会社